

関係者各位 / gallery0369プレスリリース 2021年3月

## 2021 Spring Exhibition

### 松原豊写真展 「界限 II」 写真展開催のお知らせ

お世話になります。

三重県津市美里町にある写真専門ギャラリーgallery0369です。

昨年2020年はCOVID-19新型コロナウイルス感染症の影響を受けギャラリーでの展示開催を取りやめたりすることもありましたが、2021年は感染対策を取りながらも開催を行っていく予定です。今回は2021年最初に開催する写真展の案内になります。お時間ありましたら御一読いただき写真展に足を運んでいただければ幸いです。併せて御社の情報欄などで今回の展示を取り上げていただければと思いますご案内させていただきます。

2021年の最初の写真展は 2021 Spring Exhibition 松原豊写真展 「界限 II」の写真展からスタートします。

今回の写真展はこのgalleryのオーナーである松原豊が三重県津市にあるkalas books から発行されていた冊子 Kalas (2018年12月～休刊中)の01号(2009年4月)から36号(2018年12月)までの表紙と09号(2010年9月発行)からはじまった連載「界限」で構成される写真シリーズ。連載時は 歩くカメラ「界限」というタイトルで三重県津市内のさまざまな場所を発行人の西屋さんと毎回エリアを決め松原豊が一人で歩きながら撮り下ろして掲載。編集室で夜遅くに発行人の西屋さんと一緒にページ構成を組んでいくのは楽しい時間でした。Kalas1号表紙になっている市内を走る近鉄道路と呼ばれているところの橋の掛け替え工事が進行中だったり、国道23号線にあった江戸橋の回転階段のある歩道橋など既に存在しないものもあります。そんなまちの移り変わりを歩き感じながら撮影した写真を印刷物という形を通してさまざまな人達に見てもらえたのは冊子Kalasのおかげだと感じています。今でも「松原さんKalasの表紙を撮影していた方なのですね。」と仕事などでお会いした人(意外にも県外の方が多い)からお声かけいただくことも多々あるようです。

松原豊という写真家は自分の内側に眼差しを向けるというよりは、あくまでも外側にある世界をカメラという装置を使いながら見つめること。そこに写されてきた事柄を細やかに記録することを軸に作品制作を行っています。パンフォーカスと呼ばれる絞りを絞った撮影技法を常時用いることも特徴の一つになります。そのようにして生まれてくる作品は非常にオーソドックスなスタイルで撮影された写真であると共にあたかもその場所に立っているような既視感に陥ることもあります。それらの展示などを通して他者に見てもらえることにより生じる反応を確認すること。その行為が彼にとっての「写真展示」というライブ活動になるのだといえるのでしょうか。

そのように撮影された写真を今回「界限II」というタイトルにして展示致します。まちを歩き撮影した「身近なまちの記録写真」としての醍醐味やおもしろさ、曖昧さをギャラリーという空間のなかで感じていただければ幸いです。

「界限II」は2017年10月gallery0369で開催した「界限I」に続くシリーズ2回目の展示になります2017年「界限I」開催時のwebページ

<https://gallery0369.jp/exhibition/past-exhibition/171027projectexhibition-matsubarayutaka-kaiwai/>

kalasbooks webページ

<https://kalasbook.com>

なお、今回の展示は三重県津市久居にありますアルスプラザで2021年3月21日に行われる撮影講座 久居誕生350年記念「撮る。見る。歩く。@久居」に併せて開催します。(講座の参加申込は2月20日申込初日に既に完売となっております)

<https://www.tsuhisai-ars.jp/event/30463/>



#### 写真展開催概要

gallery0369 / 2021 Spring Exhibition / 松原豊写真展「界限 II」

開催期間：2021年3月19日(金)～21(日)、3月26日(金)～28(日)

開催時間：13:00-18:00

開催場所：写真専門ギャラリー / gallery0369 / 〒514-2113 三重県津市美里町三郷369番地

電話：059-279-3703

入場料：無料

駐車場：近隣の劇場 Théâtre de Bellevilleの駐車場をご利用ください。〒514-2113 三重県津市美里町三郷2104  
問い合わせ用メールアドレス：[info@gallery0369.jp](mailto:info@gallery0369.jp)、[muranokioku@gmail.com](mailto:muranokioku@gmail.com)  
作者在廊予定：3月21日（日）以外は作者在廊予定（在廊予定はwebページにてご確認ください）  
gallery0369「界限Ⅱ」web案内ページ  
<https://gallery0369.jp/exhibition/upcoming-exhibition/2021matsubarayutaka-kaiwai2/>



#### 展示に関するお問い合わせについて

今回開催する「界限Ⅱ」展での展示内容や広報用写真などが必要な場合は [info@gallery0369](mailto:info@gallery0369)  
松原宛にメールをいただければ折り返し返信させていただきます。

#### 写真家 松原豊プロフィール matsubara-yutaka.com

1967年三重県生まれ、写真専門学校（名古屋ビジュアルアーツ）卒業  
現在三重県津市美里町に在住しながら作品制作継続中  
2013年第62回伊勢神宮式年遷宮（御遷宮対策委員会）記録撮影担当公益社団法人日本写真家協会会員、ギャラリー176（大阪）運営メンバー、写真好學研究所所長（三重県津市美里町）、gallery0369 企画、運営者  
写真集、本、冊子：  
2011年写真集「村の記憶」（月兎舎）出版、他に冊子「知立」「まちにでる」「Local public bath "Sento"」写真本「青森」「Eurasia」など  
共著：  
2012年写真集「生きる」－東日本大震災から1年－（公益社団法人日本写真家協会編）  
2015年植島啓司氏（宗教学者）共著「伊勢神宮とはなにか日本の神は海からやってきた」（集英社ビジュアル新書、撮影全般担当）  
個展：  
2011年 写真展「村の記憶」（新宿、大阪ニコンサロン）  
2011年 写真展「路地の湯」（HCL名古屋ギャラリー）  
2017年 写真展「Local public bath "Sento"」（gallery176/大阪）  
2018年 写真展「青森」（gallery176/大阪）  
2019年 写真展「EURASIA 2004 winter」巡回展（gallery176/大阪、HCL Nagoya Gallery/名古屋）  
2019年 写真展「Local public bath "Sento"」（1839當代藝廊/台湾・台北）  
2020年 写真展「Local public bath "Sento"」（TOTEM POLE PHOTO GALLERY/東京、gallery0369/三重、gallery176/大阪）  
他多数開催  
賞：  
2012年「村の記憶」三重県津市文化奨励賞受賞  
2012年「村の記憶」林忠彦賞候補最終ノミネート

#### gallery0369について

2016年12月三重県津市美里町に在住する写真家 松原豊が自分の事務所である倉庫の一部を友人の多大なる人力を借りながら作り上げた写真専門の展示空間。（廃材などを使いながら作り上げたホワイトキューブの空間）現在一人で運営していることから極力無理をしない開催を行うことを考慮しながら1年間に4回程度の展示を開催しています。galleryを開設した一つの目的は松原が今まで撮影してきた写真をさまざまな人に見てもらい＝発表せずに溜め込んできた写真を強制的に作品化して見てもらうため、そのような活動を行うための私設ギャラリーということからスタート。その後企画展として北井一夫（第1回木村伊兵衛写真賞受賞作家）、尾仲浩二（ギャラリー街道代表者）、千賀英俊、松井宏樹、三澤武彦、谷杉アキラ、さまざまな写真家達の展示も開催してきました。海外との文化交流の一環として台湾在住作家／趙炳文、許曉薇や韓国在住作家／鄭 赫鎮、表現俊の展示も開催してきました。

2018年03月企画展 ソウルを見つめる2人の眼差し / Seoul Vagabond / 서울을 바라 보는 두 사람의 눈빛  
<https://gallery0369.jp/exhibition/past-exhibition/20181113exhibition-seoulvagabond/>  
2020年12月 韓国展示文化交流の紹介レポート／釜山文化財団  
<https://gallery0369.jp/exhibition/2018-japan-korea-cultural-exchange-report/>

2019年8月企画展 台湾写真家写真展 1839當代藝廊（台湾・台北）×gallery0369（日本・三重）／写真展キュレーション 邱奕堅（1839當代藝廊）

<https://gallery0369.jp/exhibition/past-exhibition/20190906exhibition-taiwan-past-exhibition/>

地方における「写真を見つめる空間」を作ることと共に、写真家が作り上げた写真作品に直に触れること、また制作者である写真家に直接ギャラリーで会うことなどにより、写真という媒体を通してさまざまな世界のみつめかたを確認できる場所として存在しています。また写真展示と共に写真作品の販売についても積極的に行っていることも特徴になります。写真作品と写真家、鑑賞者との橋渡しをすることも役割としております。「写真プリント作品」という存在価値を里山にあるギャラリーから広げてゆくことも大切な役割だと考えています。

#### 2021年gallery0369「界限Ⅱ」展以降の写真展開催予定

4月30日～5月9日 鈴木郁子写真展「あとさき」

7月17日～7月25日 甲斐啓二郎写真展／第45回伊奈信男賞受賞（2021年）

7月30日～8月1日 櫻井親子「3774」写真展

8月20日～29日 早川知芳写真展（タイトル未定）

11月5日～11月14日 松原豊写真展（タイトル未定）

11月19日～11月28日 河田真智子写真展（タイトル未定）

12月4日～12日 寺本美穂写真写真展（タイトル未定）

gallery0369の過去に開催した写真展のweb頁

<https://gallery0369.jp/category/exhibition/>

#### gallery0369 web&SNS

webページ [gallery0369.jp](http://gallery0369.jp)

Twitter @gallery0369

Facebookページ @gallery0369

Instagram @gallery0369

お忙しい中最後までお読みいただきありがとうございました。 COVID-19新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら気をつけて過ごして参りましょう。

2021年3月 gallery0369 / 写真家: 松原 豊



©Matsubara Yutaka / 2021 photoexhibition / Kawai II / Hisai Tsu Mie Japan 2010

©Matsubara Yutaka / 「界限」 三重県津市久居 2010年



©Matsubara Yutaka / 「界限」 三重県津市西丸之内 2016年

松原豊が撮影を担当した Kalas 1号から9号の表紙（三重県津市内で撮影）

